

Step UP

2022年6月号 発行者：人事マネジメント研究所 進創アシスト 代表 鷹取敏昭（人事コンサルタント、社会保険労務士、社会福祉士）
【無断転載・無断複製禁止】 携帯：090-3269-7712 E-mail：takatori@shinsou-assist.com

これだけは押さえておきたい！ 人事労務の最新情報

～弊社ブログに、下記情報のリンクを貼っています～
<http://shinsou-assist.blog.jp/>

■【年度更新申告書】

・労働保険徴収関係リーフレット一覧/厚労省

<https://mhlw.lisaplus.jp/jump.cgi?p=9&n=166>

・労働保険関係手続きの電子申請/厚労省

<https://mhlw.lisaplus.jp/jump.cgi?p=10&n=166>

■36協定で定める時間外労働及び休日労働について留意すべき事項に関する指針について/厚労省

<https://www.mhlw.go.jp/content/000930916.pdf>

■年5日の年次有給休暇の確実な取得 わかりやすい解説/厚労省

<https://www.mhlw.go.jp/content/000463186.pdf>

■入社時の書面での労働条件明示は6割を切る/連合

<https://www.jtuc-rengo.or.jp/info/chousa/data/20220428.pdf>

■新型コロナウイルス感染症の「いま」に関する11の知識/厚生労働省

<https://www.mhlw.go.jp/content/000927280.pdf>

■不妊治療と仕事の両立に関するマニュアルを改訂/厚労省

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/koyoukintou/pamphlet/dl/30k.pdf>

■ワーキングマザーの働きやすさに関する意識調査(2022年)/マイナビ

https://www.mynavi.jp/news/2022/04/post_33770.html

■22.6%の企業が「原則としてパートタイマー全員に賞与を支給」と回答

～「令和3年度 パートタイマーに関する実態調査」/東京都産業労働局

<https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/toukei/koyou/jouken/r3/>

■パートタイマーのうち約7割は、正社員との間に不合理な待遇差がある/東京都

<https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/hodohappyo/press/2022/04/21/05.html>

■年金額試算「公的年金シミュレーター」の試験運用を開始/厚労省

https://www.mhlw.go.jp/stf/nenkin_simulator_press.html

■自律的業務遂行が鍵 1オン1面談で成長促す/経団連

<https://www.keidanren.or.jp/policy/2022/036.html>

■35%がコロナ流行後にパラレルキャリア・副業を開始/エン・ジャパン

<https://corp.en-japan.com/newsrelease/2022/29193.html>

■困った辞め方、「退職日が急すぎる」が最多/エン・ジャパン

<https://corp.en-japan.com/newsrelease/2022/29433.html>

■地元就職を希望する割合は6割超、2年連続の増加/マイナビ

https://www.mynavi.jp/news/2022/05/post_33994.html

■2023年卒大学生就職意識調査/マイナビ

https://career-research.mynavi.jp/research/20220426_27155/

■ハローワークインターネットサービスに新機能を追加しました～求人情報を

無料掲載＋欲しい人材のリサーチ・直接アプローチが可能です～/厚労省

<https://mhlw.lisaplus.jp/jump.cgi?p=5&n=165>

■約7割の企業がリモート採用を導入/マンパワーグループ

<https://www.manpowergroup.jp/client/jinji/surveydata/20220516.html>

■「技能実習適正実施マニュアル」/外国人技能実習機構

<https://www.otit.go.jp/files/user/220428-311.pdf>

■名字・姓の変更により生ずる不便・不利益、約52%がある」と回答/内閣府

<https://survey.gov.online.go.jp/r03/r03-kazoku/index.html>

※発信者によりリンク先を変更している場合はお許しください。

人事マネジメントの視点

◆心のネガティブフィルター◆

◆勝手な思い込みはないだろうか

やろうとしていることのほとんどが思惑とはズレている。小さいズレもあれば、大きなズレもある。思惑どおり完全一致していることはほとんどない。まったく想定していなかったことも起きてくる。その中で対応せざるを得ない。ということは、ズレにどう対処していくかが問われる。

ズレは、事実と思い込みで対処は違う。問題なのは、思い込みのズレ。勝手な思い込みはないだろうか。

◆想像を事実として錯覚している

考えている以上に想像を事実として錯覚していることが多い。理由の一つ、人はネガティブに考えるようにできているようだ。ついマイナスの方向で思考を巡らせ、それを膨らませてしまう。例えば、メールやLineを送ってすぐ返事が来ると思っていたのに、なかなか来ない。思惑が外れたわけだ。そこで、どうして？と想像を働かせる。

“わかってもらなかったのかも” “送った内容がダメだったんだ” これならまだいいが、“無視された。私は嫌われている” まだそう時間が経っているわけでもないし、否定的な内容の返事が来たわけでもないのに、自己解釈でネガティブなイメージを膨らませてしまう。心のネガティブフィルターを勝手に通している。

◆「それはホント？」

その勝手な想像で機嫌が悪くなったり、落ち込んだりしていれば、自分もしんどくなるし、相手にとっては迷惑なこと。ただ、想像を働かすことを否定しているわけではない。想像することは、人にとってとても大切。夢を実現させたり、危険を回避したりできる。しかし、先ほども書いたように勝手なマイナスが膨らみ過ぎるのは問題。

では、どの程度ならばよいか。私もどちらかといえばネガティブ思考に陥りがちなタイプなので、気をつけているのは、同じ想像をネガティブに3回考えるようなことがあれば、そこで線を引くようにしている。3回目になれば立ち止まって、次のことを問うている。「それはホント？」

相手から注意指導されると、自分の全てを否定された。そう考えてショックを受ける人は意外と多い。時間が経って冷静になって考えてみれば、不適切な言動を改善するように言われただけで、あれもこれもダメ、すべてダメと言われたわけではないことがわかる。それなのに注意を受けたときは、瞬時に100点か0点かで考えてしまい、結果0点だと自己否定してしまう。

「それはホント？」

アンガーマネジメントに役立つ推薦書

『なぜ日本人は怒りやすくなったのか？』

安藤俊介著 秀和システム ¥1,500+税

【内容紹介(出版社より)】「最近まわりが怒りやすくなっているな」とか「自分は怒りやすくなっているかも」という方に、アンガーマネジメントの第一人者が、日本人が怒りやすくなった理由と、自分はどうすればいいかの対策法を授ける本。第2章 要注意！自己肯定感が低いと怒りやすくなる／第4章 自己肯定感を左右するコアビリーフと向き合う／第5章 同調圧力から生じる怒りをどう回避するか／第6章 これからの時代をムダに怒らない6つのヒント。

